

石巻市(東北圏ブロック)

【計画期間 27年1月～32年3月】

- ・江戸期 : 奥州最大の米の集積港となる交易都市として発展
- ・明治～戦前 : 東北本線から外れ、往事の賑わいを失う
- ・戦後～ : 新産業都市指定を受け、水産業・商業のほか、工業都市として発展
- ・～現在 : 東日本大震災からの復興まちづくりに取組、人口約15万人、面積約556km²

【前計画の概要】

○「彩り豊かな食と萬画のまち」を目指して、中心市街地に郊外店とは異なる多様な機能を集積させ、交流人口や定住人口の増加につなげることで活性化を図った。(計画期間:平成22年3月～27年1月)

【中心市街地の変化】

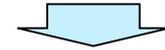
- 東日本大震災によるインフラや人的被害等の大きさもあり、定住への不安が払拭されておらず、さらに人口減少が続いている。
- 約9割の店舗が被災し、再開の動きは一部にとどまり、廃業または郊外移転が進んでおり、衰退・空洞化が止まらない。震災前に完了した市役所移転により、周辺の平日通行量は増加したが、多くは減少傾向。
- 一方、震災後、新たな団体の結成や社会サービスを補完する民間企業の参入、市外からの資本投下、新規創業の動きも出てきている。



【目指す中心市街地像】 ○市民との協働による中心市街地の復興と多様な都市機能を集積し、少子高齢化社会に対応した、歩いて暮らせるコンパクトで安全・安心なまちづくり

【前計画の目標指標】

目標	指標	基準値	最新値 H25年度	目標値 H26年度
集客による賑わい	3拠点施設の利用者数	698,118人 (H20年度)	868,166人	963,696人
回遊する人による賑わい	歩行者・自転車通行量(平日・休日合計)	18,129人 (H20年度)	15,002人	19,096人
住む人による賑わい	中心市街地における定住人口	3,176人 (H21年度)	2,777人	3,186人



【新計画の目標指標】

目標	指標	基準値 H25年度	目標値 H31年度
定住人口の増加	中心市街地における定住人口	2,777人	3,812人
交流人口の増加	2施設の利用者数 <small>対象施設一部変更</small>	241,208人	1,241,200人
	歩行者・自転車通行量(平日・休日合計)	15,002人	16,950人

《基本方針1》心が通い、安心して暮らせるまちづくり

- 【主要事業】
- ・復興公営住宅整備事業
 - ・市街地再開発事業

《基本方針2》水辺に親しみ、食と萬画で賑わうまちづくり

- 【主要事業】
- ・市街地再開発事業(観光交流施設)
 - ・石ノ森萬画館実施事業

《基本方針3》歩いて発見、楽しく回遊できるまちづくり

- 【主要事業】
- ・かんけい丸保存活用事業
 - ・石巻市子どもセンター事業
 - ・石巻市立病院整備事業

石巻市中心市街地活性化基本計画の事業概要

《基本方針1》心が通い、安心して暮らせるまちづくり

①復興公営住宅整備事業

東日本大震災により住居を失った市民に対し、復興公営住宅の供給を図る。



復興公営住宅
イメージ図

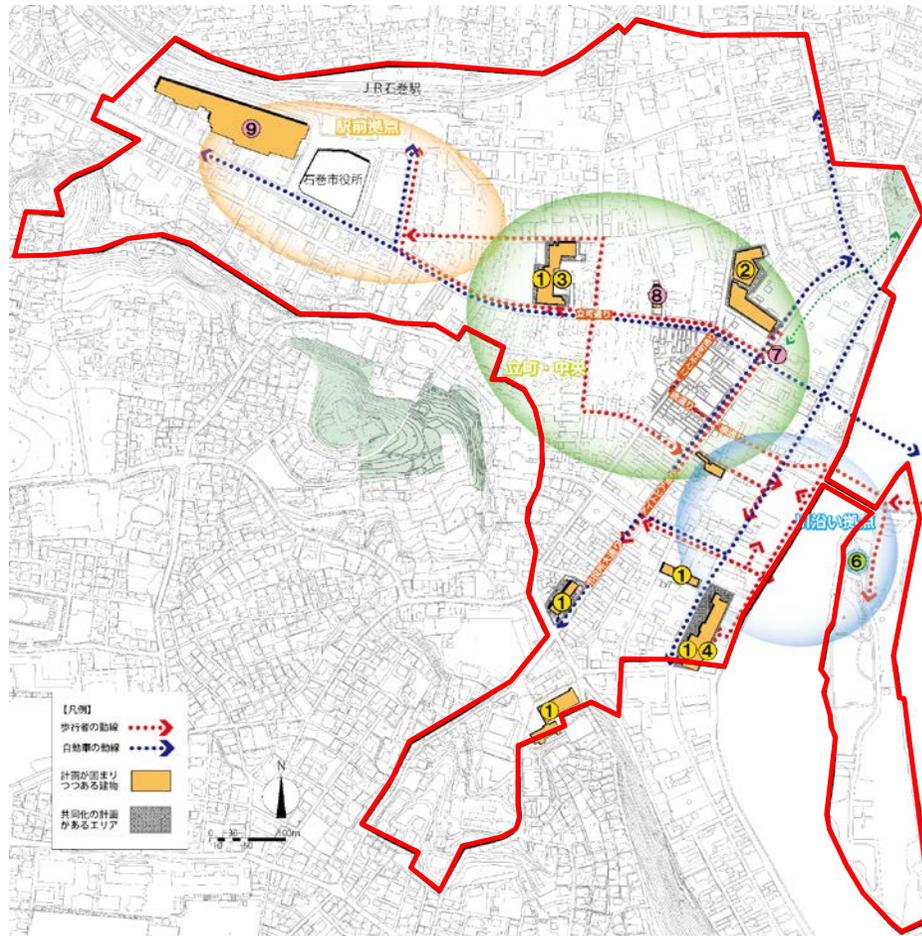
②～④市街地再開発事業

商業施設や住宅等の複合施設を建設するとともに、屋外空間の一体整備を行う。

- ②中央三丁目1番地区(約0.5ha)
- ③立町二丁目5番地区(約0.3ha)
- ④中央一丁目14・15番地区(約0.5ha)



店舗、分譲住宅
イメージ図



《基本方針3》歩いて発見、楽しく回遊できるまちづくり

⑦かんけい丸保存活用事業

寄贈を受けた陶芸丸寿かんけい丸を耐震診断・構造補強等を行い、文化財等の展示施設及び交流施設等として改修する。



かんけい丸

⑧石巻市子どもセンター事業

子どもと商店街の連携によるイベントを通じて、商店街の賑わいづくりを行うための活動の支援を行う。また、子育て中の保護者に対して子育て支援を行う。



子どもセンター

⑨石巻市立病院整備事業

震災により、壊滅的な被害を受けた石巻市立病院について、平成28年夏開院を目指し再建整備及び医療機器等購入を実施する。



市立病院イメージ図

《基本方針2》水辺に親しみ、食と萬画で賑わうまちづくり

⑤市街地再開発事業(観光交流施設)

街なかの集客拠点として生鮮マーケットをはじめとした観光交流施設等を整備する。(中央二丁目11番地区:約1.5ha)

再開発(観光交流施設周辺)
イメージ図



⑥石ノ森萬画館実施事業

石ノ森萬画館、「マンガの街いしのまき」を体感してもらいきっかけづくりとして、各種事業を開催する。

石ノ森萬画館



市立病院イメージ図